

Ishihara

2026年度
事業計画書

学校法人信愛学園
伊勢原幼稚園

はじめに—2026年度に向けて

学校法人信愛学園
理事長 伊勢原幼稚園園長
吉武誠一

伊勢原幼稚園は2026年度も保育の基本方針「キリストの愛の精神による実践」を念頭に共に歩んで参ります。

2025年度は田口美穂前園長から吉武誠一園長が引き継ぎ、1号教育の主幹が交代しての一年でした。園庭には花々や野菜がいつもあって、虫取りに夢中になっている姿があり、一人ひとりが自分の好きなことや興味のあることに、納得いくまで没頭し、工夫や挑戦を繰り返す、主体的な遊びの姿があります。

「異年齢の縦割りによるクラス編成」は4年が経過しました。先輩の姿を倣って後輩に優しくお手伝いを自然に行っている姿は微笑ましいです。

神さまによって建てられた伊勢原幼稚園の設立母体である日本キリスト教団伊勢原教会の服部能幸牧師と新井美穂牧師には、引き続きキリスト教教育主事及び同副主事として本園のキリスト教保育のお支えをいただいています。毎月の『園だより』の一面には、その月の聖句（こどもたちが月ごとに暗唱している聖書のことば）の説き明かしを服部能幸牧師に書いていただいています。毎週水曜日には伊勢原教会の礼拝堂で子どもたちと職員全員で礼拝を捧げ、服部能幸牧師から聖書の説き明かしがあり、園長のギターの音に合わせて歌うさんびの時間は礼拝の中での楽しみになっています。保護者の方にも開かれた礼拝であるようにと祈っています。

この数年、2号保育児の利用が増しており、外国籍児の増加と引っ越し、短期利用児の受け入れ（一時帰国児）がありました。2025年度に保護者の会を継続することが困難で、2026年度は休会とすることになりました。園の行事は、園全体ではなく各クラスの考え・進め方を大切にしたいと考えています。

2025年度の夏休みの時期に園舎の一部改修でホールの収納が充実し、広く活用できますことに感謝です。2026年度も保育環境の充実をすすめて参ります。安心安全に過ごせる環境を整える整備を、防災や危機管理の適切な態勢づくりを進めて参りますので、引き続き理事、評議員の皆様のご協力とご支援を賜りますようお願いいたします。

法人の概要

法人名称 学校法人 信愛学園
代表者 理事長 吉武誠一
住所等 〒259-1131 神奈川県伊勢原市伊勢原 3-10-5
電話 0463-95-0326 FAX 0463-95-0308
Home Page URL <http://isehara.youchien.to/>

設置する学校 伊勢原幼稚園

組織* 役員

理事 定員 7名

吉武誠一（理事長・園長）
服部能幸（伊勢原教会の指名）
岩根康雄（評議員会選任）
濱田 望（評議員会選任）
福川公大（学識経験者枠）
坂本眞貴子（学識経験者枠）
小木真理子（学識経験者枠）

監事 定員 2名

堀 光雄 林 大介

評議員 定員 12名

（職員枠 2名） 大島典子 松岡里佳
（卒園生枠 2名） 立澤 智 三箸宣子
（学識経験者枠 8名） 横溝明夫 山本妙子 細屋多一郎 永野正之
関 淳一 小西 敦 鈴木大樹（1名欠員）

(* 理事・監事・評議員の選任枠と氏名は2026年4月1日現在。)

顧問契約等

会計士：川合孝一会計事務所(千葉県富里市) 川合孝一公認会計士
税理士：宿谷会計事務所(東京都新宿区) 宿谷忠司税理士、花岡理恵税理士
社労士：社労士法人アークス(神奈川県平塚市) 佐藤 出社労士

2026年度における法人の運営方針

- ・地域に仕える伊勢原幼稚園の教育と保育を支える。
- ・中長期の展望に基づいた計画を立案する。
- ・園児の安全や危機管理への対応力を高める取り組み。
- ・保育者の労働環境を整え、処遇改善と働き方に配慮する。

教育に関する事業の概要

学級と園児数 利用定員 60名 (認可定員 80名)

利用定員 内訳 () は内数

	1号認定	2号認定	合計
5歳	19	4	23
4歳	19	4	23
3歳(満3歳)	12(5)	2	14(5)
合計	50(50)	10	60(5)

2026年度園児予定数 (2026年3月時点での予想人数)

	男		女		小計		合計
	1号	2号	1号	2号	1号	2号	
5歳	5	4	3	4	8	8	16
4歳	4	2	2	7	6	9	15
3歳	4	1	3	1	7	2	9
合計	13	7	8	12	21	19	40

参考 (2025年3月時点園児数: 1号認定31人, 2号認定17人計48人)

(注) 認定こども園における認定区分について

1号認定: 子どもの年齢が満3歳以上で、教育標準時間4時間程度で通園する

2号認定: 子どもの年齢が3歳以上で、保育に必要な事由(保護者の就労、妊娠、出産、疾病等)に該当し、保育標準時間(原則11時間以内)や保育短時間(原則8時間以内)で通園する

教育・運営体制 (2026 年度)

(敬称略)

園長		吉武誠一
副園長		坂本眞貴子
教育	主幹教諭(1号)	大島典子
	クラス担任 *1	1くみ 岩本遥香
		2くみ 吉村真由子
		3くみ 鴻巣 麗
クラス補助	江崎華奈 大河原知美 提島美紀 高須知子 平出真理	
保育	主幹保育士	塚原 萌
	教務主任	松岡里佳
	クラス補助	大屋知恵子 来島智恵子 中尾恵里子
未就園	クラス担任	倉地利巳子 竹本久美子
事務	事務	竹内美那
庶務	園バス運転・庶務	鈴木 倫
園バス	園バス添乗	青木洋美

キリスト教教育主事	服部能幸
キリスト教教育副主事	新井美穂
カウンセラー	北村由美
わらべうた講師	二階堂恵子
評議員(職員枠2名)	大島典子 松岡里佳
園庭管理担当	来島智恵子(兼務)

*1 年齢別クラスの場合

5才 大島典子・岩本遥香

4才 吉村真由子

3才 鴻巣麗

園医 (医師・歯科医師・薬剤師・栄養士)

内科医 大跡典子

歯科医 新倉良一

薬剤師 稲葉理恵

栄養士 五十嵐恵理子

保育方針と取り組み

保育方針

イエス・キリストの愛の教えを土台とするのがキリスト教教育・保育です。

全ての子どもが神さまの宝としてこの世に生まれてきていることを保育者がしっかりと自覚し、あるがままの子どもを受け入れ、その心を抱きとめることにより、保護者と子ども、子ども同士の心地よい関係を築いていくことが、キリスト教教育・保育の理念です。

幼稚園で十分愛されていると感じた子どもたちは、必ず人を愛する人間に育っていきます。

子どもは、「おもしろそう」と思うことに心動かし、飛びつき、他者や環境に働きかけます。

その中で達成感や満足感を味わい、心を通い合わせて共に生きる人としての在り方を、身を

もって知ることになります。加えて、他者に対する思いやりの心や感謝の気持ちも自然と培われていきます。

このように遊びこんだ人たちには、忍耐力、創造力、想像力、共感力などが育ち、その生涯を豊かなものとするのです。また、十分に遊びこんだ人たちは、心満たされ、静まって他者のことばに耳を傾けることができるようになります。このくり返しの日々が、豊かな自然の中でくりひろげられる時、一人でも、他者とでも、平和への歩みを歩き始める人へと成長させられていくのだと思います。

このようなキリスト教の精神のもとに、幼な子と共に生きようとするのが伊勢原幼稚園の基本方針です。

保育への取り組み

キリスト教保育

○保育における主題：キリスト教保育連盟保育実施研究会による。

年間・月聖句、年主題・月主題、月のねらいに準拠して、月案を作成し実践する。

○2026年度 年主題 「しゅイエスとともに」

年主題聖句 「主があなたと共におられる」(マタイによる福音書1章28節)

○会堂礼拝：週1回水曜日、伊勢原教会会堂で全園児と教職員が共に礼拝をささげる。

原則として毎月の誕生会を含む礼拝は園ホールでささげる。

○クラスで礼拝：各クラス担任による礼拝。こどもさんびか、暗唱聖句、お祈り、聖書のおはなし(紙芝居、絵本などを用いることも)。

月1回、園長・副園長が各クラスで、聖書のおはなし。

○花の日・こどもの日(会堂礼拝、花を持って訪問)、収穫感謝(会堂礼拝と愛餐)、クリスマス(ページェント)礼拝で、イエスさまの降誕を祝う。

○職員のためのキリスト教の学び：月1度、服部牧師・新井牧師からキリスト教に理解を深める学びの場を設けている。

豊かな心を育てる保育への取り組み

○屋外活動・園外保育：園庭での外遊びや公園へ行って自然や土に触れる。

園芸の専門教師による野菜や花などの植物、生き物を育てる喜びに参加する。

2026年度は、各クラスのやりたいことを話し合いの中から見つけることを大切に進める。

○料理の日：料理の日は子どもたちが自分たちで作ったおにぎり、たけのこご飯、焼きそば、カレーなどを昼食に頂く食育活動の日である。保護者からの協力も得ている。

○ホームコンサート：年に一度、生演奏の音や楽器に触れる機会を通して、音を身体全体で感じるコンサートを実施する。

○図書の充実と絵本の定期的貸出し：絵本の貸し出しや読み聞かせを実践することで、幼児期によい絵本に親しむことを大切に考えた保育を実践します。

○わらべ歌：うたと言葉、リズム、人と人との関係など、わらべ歌遊びを通しての学び。

縦割り保育の実施

2022年度から3・4・5歳児混合の縦割り保育を実施して4年が過ぎました。現在の社会現象として、少子化、核家族化が続くなかで、異年齢により互いに育ち合うことの大切さを思っでの改革と統合保育の実現のためです。

1号認定児保育

保育日

始業日

終業日

第1保育期：4月 6日（月）～ 7月17日（金）

第2保育期：9月 1日（月）～12月19日（土）クリスマス礼拝・終業日

第3保育期：1月12日（火）～ 3月15日（月）

保育時間： 午前9時～午後2時

2号認定児保育、一時預かり保育（おひさまクラス）

1号認定保育時間の前後に行われる保育

- ・午後5時までの保育短時間
- ・午前7時30分から午後6時30までの保育標準時間（保育長時間）

保育日 園則に定める下記の休園日を除く日

- ・土曜日、日曜日
- ・国民の祝日に関する法律に規定する休日
- ・12月29日から1月3日まで

保育時間

保育標準時間：午前7時30分～午後6時30分

保育短時間：午前9時～午後5時

おひさまクラスでは、教育時間が終わる午後2時に1階のクラスから2階の部屋に移動し、午睡が必要な園児と遊びをする園児がいる。2号認定の園児と1号認定で一時預かりとなる園児が共に過ごす。おやつ時間、遊びの時間、午後4時半頃から降園する園児がいて、午後6時30分までに降園。

長期休み中には園外保育やおやつ作りなどを計画している。

なお、年度途中に1号認定より2号認定への切り替えも可能。

子育て相談の実施

すべての子育て家庭を対象に、子育ての相談活動や情報の提供・援助または親子の集いの場の提供などを行う。園長、副園長、カウンセラー（臨床心理士）、職員が育児相談などを受け付ける。

食育と健康への取り組み

家庭で手作りのお弁当による昼食。安心できる食材の週1回のパンの日は希望者に提供。

2号認定の園児には外注の給食と共に週1回パン給食を提供する。

○健康管理：園児健康診断実施（内科、歯科、視力・聴力検査）。隔月に発育測定。

○教職員健康診断の実施。

○〈園医〉 大跡典子先生(内科) 新倉良一先生(歯科)、

〈薬剤師〉 稲葉理恵先生、〈管理栄養士〉：五十嵐恵理子先生

安全と危機管理への取り組み

○防災訓練：月1回の月に火事・地震を想定した避難訓練を実施する。災害発生場所・状況を変え、それに対応した避難の仕方を指導する。特に、5月には市長発令の引取り訓練として、保護者に確実に園児を引渡す引き取り訓練を実施予定。3月には広域避難場所(伊勢原小学校)への避難訓練を実施する。不審者侵入防御訓練も予定する。

○危機管理の体制を強化し保育者の意識向上を目指す。

保護者の会との連携

・2026年度保護者の会は休会。

保護者による評価と自己評価

・保育と運営に関する保護者アンケートの実施する。

職員による自己評価の実施

・アンケートでの意見や自己評価によって保育者が自ら取り組んできた事を検証する。

・このような取り組みによって新たな課題と目標を明確にする。

関連保育、地域開放・交流事業

神奈川県私立幼稚園等地域開放推進補助事業

りんごさん：園舎、園庭を開放した親子触れ合いプログラムとして下記を実施予定

「わらべうたあそび」月1回 月曜日 10：00～10：30 (年齢別)

「あそびのひろば」月2回 月曜日 10：00～12：00

「2さいのひろば(仮称)」 旧つくしさん

保育者やカウンセラーによる育児相談も実施

本事業の一環として「子育て講演会」を実施する。

地域での交流

○市内中学校(中沢中学)の校外学習としての生徒受入れ

中学生が職場体験をしながら、将来の進路を考えるきっかけになります。

伊勢原高校の高校生との交流。（感染症の状況により実施は未定）

○「花の日」訪問

日頃お世話になっている園医、写真館、警察署、消防署にお花をもって訪問します。年長組はパトカーや消防車に試乗させてもらえます。

広報活動

地域に仕える保育や育児相談、入園児数の確保による経営の安定化のために、これまでと同様の広報活動を実施予定です。

- ・ホームページ（「信愛学園 伊勢原幼稚園」で検索可）の充実
幼稚園日記、未就園のページ、預かり保育のページ『おひさまにつき』、園からのお知らせ、入園案内等の広報、保護者アンケート結果公開等

2026年度の主な行事予定

第1保育期

始業式	4月 6日（月）	
入園・進級の集い	4月 7日（火）	
お泊り保育	5月21日（木） 22日（金）	年長児
ふれあい親子デー	6月 3日（水）	クラス別
	6月 4日（木）	
	6月 5日（金）	
終業日	7月17日（金）	

第2保育期

始業日	9月 1日（火）
運動会	10月10日（土）
クリスマス礼拝	12月19日（土）
終業日	同上

第3保育期

始業日	1月12日（火）
おたのしみ発表会	2月13日（土）
卒業式	3月13日（土）
終業日	3月15日（月）

（この予定は2026年3月1日時点でのものです。）

以上